

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和8年1月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 1,394名 支援対象者数 131名 就職者数 215名 就職率 25.2% (参考)前年同月実績 ・利用者数 1,059名 ・支援対象者数 111名 ・就職者数 194名 ・就職率 19.8%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：20代 ・希望職種：介護職

① **求職者の課題**・母子家庭の母。子供小2。離職後失業給付手続きせず、無就労4か月経過。

② **紹介の経過**・介護福祉士を目指すという明確な目標を持っている。特別養護老人ホームで働きたいという強い希望があり、子供の学校時間に合うデイサービスでの就労は受け入れられなかった。失業給付の手続きと同時に介護実務者研修を案内し受講。受講中から求人情報収集を行ったが時間・休日の条件や運転免許がないことで応募可能な求人が少ない。子どもの時間に合った働き方を優先すること、特養以外の経験が介護福祉士にも役立つことを説き納得、デイサービスも含め応募先を検討。事業所には事前見学を依頼し数所見学。子育てに理解があることや子育て中のスタッフが多いこと、施設の雰囲気や利用者の様子を見て応募先を決定。特養にこだわっていたが施設見学や事前説明を受けたことで思い込みや不安が解消、重度認知の方の介護にも興味を持ち、デイサービスでの就労に前向きになり応募へと進むことができた。

③ **結果** 紹介就職 パート 介護職員（デイサービス）

④ **職業相談員の所感**・出産前から関わっていた。出産後に職業訓練介護初任者研修受講し、子育てに理解があり時間や休日に配慮される事業所に就職。保育園送迎や通勤も頑張り、パートから正社員になれたが職場の人間関係理由に6年で退職。配慮されていたことが当たり前となってしまう、正社員になって責任の重さが負担になったことも離職の原因であった。失業給付や児童扶養手当の手続きをめんどくさがり怠っていた。子ども支援課が長く関わり見守っているが、困ったときは助けを求めると不要と感じれば連絡を拒絶する。子ども支援課に限らず、HWや訓練校に対しても同様。その点に関しては厳しく注意。反面、就労には前向きに積極的に取り組む姿勢が見られた。相談時には子どもの写真を見せて「子どもにかわいい服を着せるためにも働くんだ」と話す姿が印象的であった。

⑤ **本人のコメント**

・子育てに理解がある事業所で子育て中のスタッフも多く安心して働けそう。介護福祉を目指して頑張りたい。